

## 令和4年度 第1回学校運営協議会報告

1 日 時 令和4年5月23日(月) 午前10時35分から12時35分まで

2 場 所 静岡県立伊豆の国特別支援学校伊豆松崎分校  
(松崎高等学校会議室)

3 内 容

(1) 学校運営協議会委員の任命

(2) 学校経営についての意見交換

- ・今年度の学校経営について
- ・生徒、教職員について
- ・卒業生の進路状況について
- ・不祥事根絶の取組計画

(3) 校内見学・授業見学

- ・音楽「牛原太鼓」

4 参加者 令和4年度学校運営協議会委員 副校長 部主事

5 委員からの質問、提案など

①職員数について

- ・教師が2名減となったのはなぜか。
- ・生徒数は、17人から18人と増えたが、クラス数は変わらない。昨年度は、急な学級減少で特別に配置してもらった。今年度は、通常的人员配置となった。
- ・在学中は、教員の目の届く中で過ごしている。社会に出てから目が少なくなり、挫折する子が多い。生徒が自分から気付いて表現したり行動したりすることを学ぶという点では、教師の減少は、良い機会でもある。

②地域とのつながりについて

- ・定期的に学校を広報していきたい。今年度は「学校だより」を出していく。町内や地区の方は、普段生徒の活動している様子を近所で見つけてもらっているが、学区全域での理解も広めていきたい。
- ・昨年、伊豆松崎分校生が松崎高校生に「ボッチャ」を教えているという記事があった。町内の老人会も子どもたちに教えてもらう活動は可能か。
- ・交流で関わりを持てれば、その方々が生徒の様子を他に伝えていただける。道具も貸し出すことができる。
- ・11/11～14に松崎町の「芸術祭」がある。搬入10日、搬出14日15時以降。今年度も参加したい。
- ・静銀のATMの所にも作品を展示している。ほかの所にも希望があれば、作品の貸し出しをしていきたいと考えている。そうすることで、いろんな方に(学校を)知ってもらえる。
- ・昨年度、木工班が作ったベンチを、梅月園横のバス停に二つ置いている。
- ・今年は地域で田植え、祭り等、いろいろ行事をやり始める予定。稲刈りは10月はじめ。公園、公民館の掃除をしてもらい、助かっている。

### ③地域での支援

- ・ 障害者の親が開いた塾の「新聞記事」より、その時々に必要な支援があるので、親子で教えてもらえるのはとてもいい取り組み。
- ・ 自信を失って入学してくる生徒もいる。保護者もいろいろ言われて傷ついていることがある。「学校教育目標」にもあるように、良さに気づき自信をもって社会に出てほしい。
- ・ 他地区に比べて資源が限られるため機関が連携したり、保護者から声を上げたりするなどし、相談できる場所、居場所づくりが必要になってくる。

### ④不祥事根絶

- ・ 通勤距離が長いので交通事故のリスクが高い。通勤路の気を付けるべきポイントを確認した。
- ・ 生徒は、SNSやゲーム等で外部の人とつながっている。気を付けなければならない。
- ・ 職員は、生徒との距離感に気を付け、チームで対応すること（個人的なやり取りはしない）で、生徒と自分を守るようにしている。また、「ちゃん付け」で呼ばないなど、高校生としての対応を心がけている。
- ・ 4月に、県内で教職員の不祥事が相次ぎ、教育長より緊急メッセージがあり、緊急職員会議（研修）も開いた。悪いところは指摘していただき、よいところは地域に発信していただけたらと思う。